

健康保険傷病手当金支給申請書(第 回)

被 保 険 者 が 記 入 す る と こ ろ	㊦ 被保険者証の記号・番号		㊩ 被保険者の生年月日					㊨ 被保険者の氏名 (フリガナ)								
	—		昭和 平成		年		月		日							
	㊥ 被保険者 (申請者) の住所	〒	都道府県								電話 ()					
	㊧ 被保険者の 資格を取得 した年月日	昭和 平成 令和	年	月	日	㊦ あなたの 仕事の内 容			㊨ 傷病名	診療担当者記入欄に記入されている 傷病による申請である場合は、左記に ☑を入れてください。 別傷病による 申請を行う場合は、別途療養担当者 に意見を記入してもらってください。		㊩ 初診日	年	月	日	
	㊧ 発病時の状況を詳しく (負傷の場合は裏面㊨ を記入してください。)										㊩ 第三者行為によるものですか ☐ はい ☐ いいえ 「はい」の場合は「第三者行為による傷病届」を提出してください					
	㊨ 療養のため休んだ期間 (申請期間)	令和	年	月	日	から	日間		自	年	月	日	至	年	月	日
	㊩ 上記㊨の療養のため休んだ期間(申請期間)の報酬を受けましたか。 または今後受けられますか。								☐ 受けた ☐ 受けない ☐ 今後受ける ☐ 今後もしない							
	㊩ 上記㊩で「受けた」「今後受ける」と答えた場合、その報酬の額と、その報酬 支払の基礎となった(なる)期間を記入してください。								令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで 円							
	㊩ 「障害厚生年金」または「障害手当金」を受給していますか。 受給している場合、どちらを受給していますか。								☐ はい ☐ いいえ ☐ 請求中 ☐ 障害厚生年金 ☐ 障害手当金							
	㊩ 上記㊩で「はい」または「請求中」と答えた場合、受給の要因となった(なる) 傷病名を記入してください。															
	㊩ 上記㊩で「はい」または「請求中」と答えた場合、基礎年金番号・年金コード・ 支給開始年月日・年金額を記入してください。 (「請求中」と答えた場合は、基礎年金番号のみを記入してください。)								基 礎 年 金 番 号 年 金 コー ド 支 給 開 始 年 月 日 年 金 額 平成 年 月 日 円 令和							
	㊩ 資格喪失した方で、その後も継続して傷病手当を申請する場合、老齢または 退職を事由とする公的年金を受給していますか。								☐ はい ☐ いいえ ☐ 請求中							
	㊩ 上記㊩で「はい」または「請求中」と答えた場合、基礎年金番号・年金コード・ 支給開始年月日・年金額を記入してください。 (「請求中」と答えた場合は、基礎年金番号のみを記入してください。)								基 礎 年 金 番 号 年 金 コー ド 支 給 開 始 年 月 日 年 金 額 平成 年 月 日 円 令和							
	㊩ 労災保険から休業補償給付を受けている期間の傷病手当金の申請ですか。								☐ はい ☐ いいえ ☐ 労災請求中							
㊩ 上記㊩で「はい」または「労災請求中」と答えた場合、支給元または請求先の 労働基準監督署名を記入してください。								支 給 (請 求) 労 働 基 準 監 督 署 名 労働基準監督署								
㊩ 介護保険法のサービス を受けたとき		保 健 者 番 号			被 保 険 者 番 号			保 険 者 名 称								

③ 委任状	傷病手当金の受領を	⑩	に委任します。
	令和 年 月 日 被保険者（請求者）氏名		⑩

公 金 受 取 口 座		☐ マイナポータル等で事前登録した公金受取口座を利用します。(利用する場合は☑、しない場合は下記の欄を記入。)					
⑧ 退職者用 振 込 先	銀 行 名	銀行・農協 金庫・信組	本店 支店	種 別	普通 ・ 当座	通帳番号	
	口座名義	(フリガナ)					

個人番号記載欄

[illegible]

※保険証の記号番号を記入した場合は不要

令和 年 月 日 提出

千葉県機械金属健康保険組合

受付日印

支払日印

労務に服することができなかった期間を含む賃金計算期間の勤務状況および賃金支払状況等を記入してください。

事業主が証明するところ	㊸ 勤務状況（出勤は○で、有給は△で、公休は公で、欠勤は／でそれぞれ表示してください。）																															出勤	有給								
	年	月																															計	日	日						
	年	月																															計	日	日						
	年	月																															計	日	日						
	㊹ 労務に服することができなかった期間に対して、賃金を支給しました(します)か？ □はい／□いいえ																															給与の種類 (○で囲んでください)		賃金計算							
	㊺ 労務に服することができなかった期間を含む賃金計算期間の賃金支給状況を下欄に記入してください。																															月給 時間給	日給 歩合給	日給 その他	締日	日					
																																支払日	当月翌月	日	日						
	支給した(する)賃金内訳	区分	期間	単価	月 日 日分 ～ 月 日分							月 日 日分 ～ 月 日分							月 日 日分 ～ 月 日分							●賃金計算方法（欠勤控除計算方法等） について記入してください。															
			基本給		支給額							支給額							支給額																						
			通勤手当																																						
住居手当																																									
扶養手当																																									
手当																																									
手当																																									
現物給与																																									
計																																									
上記のとおり相違ないことを証明します。 令和 年 月 日																															担当者氏名										
㊻ 事業所所在地																																									
事業所名称																																									
事業主氏名																															電話 ()										

「初回申請分」には、労務に服することができなかった期間を含む賃金計算期間とその期間前1ヶ月分の賃金台帳と出勤簿（タイムカード）の写しを添付してください。「第2回目分」以降に報酬（各手当）を受けている場合も賃金台帳と出勤簿の写しを添付してください。

療養担当者が意見を記入するところ	患者氏名																																																											
	傷病名 ※労務不能と認めた傷病をご記入ください	(1)																													療養の給付 開始年月日 (初診日)	(1)	年		月		日																							
		(2)																														(2)	年		月		日																							
		(3)																														(3)	年		月		日																							
	発病または 負傷の年月日	令和 年 月 日	発病 負傷																													発病または 負傷の原因																												
	㊼ 労務不能と 認めた期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	日間																																																									
	㊽ ㊼のうち 入院期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	日間 入院																													療養費用の別	健保	自費	公費 ()	その他																								
	診療実日数	日	診療日を ○で囲んで ください。	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																									
				月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																									
				月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																									
㊾ ㊼の期間中における「主たる症状および経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等（詳しく）																															手術年月日	令和 年 月 日																												
																															退院年月日	令和 年 月 日																												
症状経過からみて従来の職種について労務不能と認められた医学的な所見																																																												
人工透析を実施 または人工臓器 を装着したとき	人工透析を実施または人工臓器を装着した日															昭和・平成・令和 年 月 日																																												
	人工臓器等の種類	ア. 人工肛門 オ. 人工透析										イ. 人工関節 カ. その他 ()					ウ. 人工骨頭					エ. 心臓ペースメーカー																																						
上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 日																																																												
㊿ 医療機関の所在地																																																												
医療機関の名称																																																												
医師の氏名																																																												
電話 ()																																																												

負傷原因記入欄 初回申請時のみ記入してください。

⑧ 負傷の原因について記入してください（該当する□にチェック☑してください。）		
被 保 険 者 が 記 入 す る と こ ろ	[負傷日時・場所等] 1. いつケガ（負傷）をしましたか。 令和 年 月 日（ 曜日） ☐午前／☐午後 時 分頃 2. ケガ（負傷）をした日は次のうちどの日でしたか。 ☐出勤日 ☐休日（定休日・休暇含む） ☐その他（ ） 3. ケガ（負傷）をした時は次のうちの時間帯でしたか。 ☐勤務時間中 ☐通勤途中（☐出勤／☐退勤） ☐出張中 ☐私用 ☐その他（ ） 4. ケガ（負傷）をした場所はどこでしたか。 ☐会社内 ☐道路上 ☐自宅 ☐その他（ ） 5. ケガをした原因で次にあてはまる場合がありますか。 ☐交通事故 ☐暴力（ケンカ） ☐スポーツ中 （☐職場の行事／☐職場の行事以外） ☐動物による負傷（飼い主 ☐有／☐無） ☐あてはまらない 6. 「上記5」にあてはまる原因がある場合、あなたは被害者ですか、加害者ですか。 相手 ☐有→ ☐あなたは被害者 ☐あなたは加害者 ☐無 ※相手のいる負傷の場合は、「第三者行為による傷病届」が必要となります。	[受診した医療機関] 7. 診療を受けた医療機関名とその期間等 医療機関名 令和 年 月 ～ 令和 年 月 ☐治癒／☐治療中 医療機関名 令和 年 月 ～ 令和 年 月 ☐治癒／☐治療中 8. 負傷したときの状況（原因）を具体的に記入してください。 9. 被保険者が代表取締役等役員の方の場合、労災保険に特別加入していますか。 ☐加入有／☐加入無

【記入上の注意】

1. 記入した字句を訂正する場合は、訂正箇所を二重線で抹消し、正しい内容と㊦㊧㊨の方の氏名（サイン）を記入してください。修正液等は使用しないでください。
2. ㊦㊧欄「発病の状態、または負傷の原因」については、その詳細を記入すると共に、負傷の原因が第三者によるものであるときは第三者の住所、氏名、電話番号を記入し、別紙「第三者行為による傷病届」を添付してください。
3. 証明書等が外国語で記載されている場合は、翻訳文を添付してください。翻訳文には、翻訳者が署名し、住所および電話番号を明記してください。
4. 「初回請求分」には、請求期間中および請求期間前1ヶ月分（通常勤務月分）の賃金台帳と出勤簿（またはタイムカード等）の写しを添付してください。2回目分以降請求時に欠勤控除されない手当等がある場合につきましても、賃金台帳と出勤簿等の写しを添付してください。また、欠勤控除がある場合は、控除の仕方を付記してください。
5. 障害年金、障害厚生年金、障害手当金を受けているときは、年金証書もしくは通知書等の写しを添付してください。
6. 「任意継続被保険者または資格喪失後継続して傷病手当金を受けている方」が老齢または退職を事由とする年金を受けているときは、年金証書もしくは通知書等の写しを添付してください。
7. 未記入欄がありますと返戻の対象になりますので、ご注意ください。

【注意事項】

※障害年金、障害厚生年金、障害手当金を受給している場合、傷病手当金の額が一部もしくは全部不支給となる場合があります。

※老齢または退職を支給事由とする年金を受けている任意継続被保険者または資格喪失後継続して傷病手当金を受けている方は傷病手当金の額が一部もしくは全部不支給となる場合があります。

【別添】

被保険者証	記 号		番 号	
氏 名	(フリガナ)			
		生年月日 昭和 年 月 日 平成		

傷病手当金(出産手当金)の申請期間の初日の属する月を含む12ヶ月の間に、勤務先に変更があった場合は、各勤務先の名称、住所および使用されていた期間をご記入ください。ただし、勤務先が変わったことに伴い、保険者(全国健康保険協会または健康保険組合のことを言います。)も変わった場合は除きます。

①	会 社 名	(フリガナ)				
	所 在 地	〒	—	都 道 府 県		
	使用されていた期間	年	月	日	～	年 月 日

②	会 社 名	(フリガナ)				
	所 在 地	〒	—	都 道 府 県		
	使用されていた期間	年	月	日	～	年 月 日

③	会 社 名	(フリガナ)				
	所 在 地	〒	—	都 道 府 県		
	使用されていた期間	年	月	日	～	年 月 日

傷病手当金(出産手当金)の申請期間の初日の属する月を含む12ヶ月の間に、加入していた健康保険組合に合併、分割または解散が生じた場合は、各健康保険組合の名称およびその加入期間をご記入ください。

①	健 康 保 険 組 合 の 名 称					
	加入期間	年	月	日	～	年 月 日

②	健 康 保 険 組 合 の 名 称					
	加入期間	年	月	日	～	年 月 日